



## 道前平野農地整備事業

### 工事前生物保護移動（生きもの引越）を開催

<道前平野農地整備事業所>

令和元年10月5日（土）に道前平野農地整備事業所は、愛媛県西条市の北条団地において北条地区の区画整理工事に伴う環境配慮の一環として、地元北条地区環境保全会を主催者としてNPO法人西条自然学校協力のもと、地元の子供（幼稚園児から小学生15人）を対象に、工事区域内の魚類やヤゴ、カエル、餌生物となるカワニナ等を保護し、工事の影響を受けない水路等に移動させることで、工事後の速やかな環境回復と、地域住民による環境保全活動の促進を図る目的として開催しました。採取場所は令和元年度に工事实施の水路とし、採取した生きものは下流の遊水池に放流しました。

はじめに、環境保全会西山委員長から「農業用水路には多様な生きものが住んでいること、水田が生きものに寄与していること」等についてお話がありました。

次に、作業内容や注意事項の説明を行い採取予定地の水路へ移動し、子どもたちはタモ網で水路に生息する生きものの採取を行いました。

採取中、網に蛇がかかるというハプニングもありましたが無事に採取を終了しました。

#### 生きもの採取の様子



#### 蛇も引っ越しさせました

採取した生きものの同定と記録を参加者全員で行い、NPO法人西条自然学校の松田氏による生きものの観察と解説を行いました。

また、カエルをどうすればおとなしく扱うことができるかという話に、参加した子どもだけでなく大人も興味津々で話を聞いていました。



#### 【生きものの同定と記録】



#### 【生きものの観察と解説】



「今回の生きもの移動に参加してどうでしたか」の問いかけに対して、参加者から「また、このような機会があれば是非とも参加したい。」との回答がありました。

この後、下流の水路および遊水池に移動し、採取した生きものを一斉に遊水池へ放流しました。





10月だというのに暑い1日でしたが、子どもたちは土水路内に生息していたメダカやザリガニ、ヤゴなどとふれあい、新しい発見があったと思います。

★ 引越結果：「魚類」コイ(1)ミナミメダカ(多数)ドンコ(2)「両生類」アマガエル(6)ヌマガエル(15)「貝類」スクミリンゴガイ(10)カワナナ(40)「甲殻類」アメリカザリガニ(14)「昆虫類」ウスバキトンボ(6)シオカラトンボ(2)ヒメゲンゴロウ(2)

：駆除した外来種



【採取された生きもの】